

## 地域住宅生産者グループ No.409

## チーム吉田・外館・長内

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
くじ『匠の家』	岩手県

## グループの特徴とメッセージ

- ・当グループでは、木材の「多様性」と、大工の「伝統の技」を活かした住宅建設を特徴としています。地域型住宅においては、建材の乏しい中での「早期完成」が求められるものと考え、現在、木材のストックや住宅のプラン・工法・積算等の準備を進めております。
- ・くじ『匠の家』からの提案
  - ① 自在に「伸縮する家」— 掃除の行き届かない部屋は設けない。
  - ② 資源・マテリアル消費の低減 — 自然素材活用による「呼吸する家」の提案
  - ③ パツプ手法による省エネ — 遮熱シートによる断熱・防露・気密工法提案
  - ④ 無垢材を活かす — 伝統の技による柔軟性と剛性を合せ持つ木構造

## グループの基本情報

グループ名称	チーム吉田・外館・長内
所在地	岩手県久慈市大沢第 9 地割 28 番地 7
結成年月	2011 年 4 月
グループ形態	任意団体
主たる業態	工務店
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計 26 社 原木供給 : 3 社 製材 : 3 社 建材流通 : 3 社 プレカット : 2 社 設計 : 2 社 施工 : 5 社 その他 : 8 社
代表者名	長内健一(株式会社長内健一 建築設計事務所 代表取締役)
主な受賞歴・ 活動内容等	・第 2 3 回住生活月間功労者 国土交通省住宅局長感謝 状受賞 (東日本大震災関係)

## 地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,100~1,500 万円
価格の基準面積	100 m <sup>2</sup>
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

## グループ全体の施工実績 (年間)

建設戸数* (木造戸建)	12 戸
うち地域材活用の住宅	12 戸
うち長期優良住宅	1 戸
グループとしての 施工実績	あり 1 戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	30 戸
上記以外の実績	500 万円以上の大～ 中規模リフォーム工事 を 3 戸程度受注 (年 間)

\*参画する施工業者の建設戸数の合計

## 連絡窓口

担当者名	長内健一	メール	osanai.sekkeijimusyo@d011.dant2.jp
電話番号	0194-52-2412	F A X	0194-52-2400
ホームページ	外館工務店: <a href="http://www.todate-komuten.com/">http://www.todate-komuten.com/</a>		
自由記入欄			

地域型復興住宅

くじ『匠の家』

地域型復興住宅のイメージと特徴

■「家族の絆を育む」家づくり

- ・気候や風土に育てられた地域材を構造材や内装材に使い、木が持っている温もりや優しさで家族を包み込み、それが「心のバリアフリー」へと繋がっていくような居心地の良い空間。
- ・「家計に優しい快適な暮らし」をコンセプトに、高断熱での全館暖房設備を取り入れた熱エネルギーロスの少ない造り。
- ・コンパクトプランのなかにも、十分な収納ができるスペースを確保。
- ・子供の成長を見守りながら、楽しく快適に過ごせるように配慮した生活動線。
- ・1階の客間は、将来（老後）居室としての利用を考え、トイレや浴室に隣接させた平面プラン。

(担当者：外館直人)



コンパクトで使い勝手の良い住まい



解放感のある玄関ホール



梁が見え、天井の高いリビング



木に囲まれ、森を思わせる空間

代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：66.24 m <sup>2</sup> 2階：61.27 m <sup>2</sup>
設計	沢里清幸建築設計事務所	施工	外館工務店
施工費	1,950 万円（設計費用は除く）	備考	オール電化住宅

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

### ■自在に「伸縮する家」の設え

#### ・「設計コンセプト」

住まいは、必要に応じ自在に伸縮出来るフレキシブル（伸縮性・隙間）なプランが望ましいと考え、「コンパクトな平面」と「開放的な立体空間」とを合わせもつ家を提案します。

#### ・「設計方法」

基本となる数タイプの中から、希望に近いものを選び、それをベースに施工主の「希望」と「立地条件」に合った住宅のプランづくりを進めます。

### 主に活用している地域材について

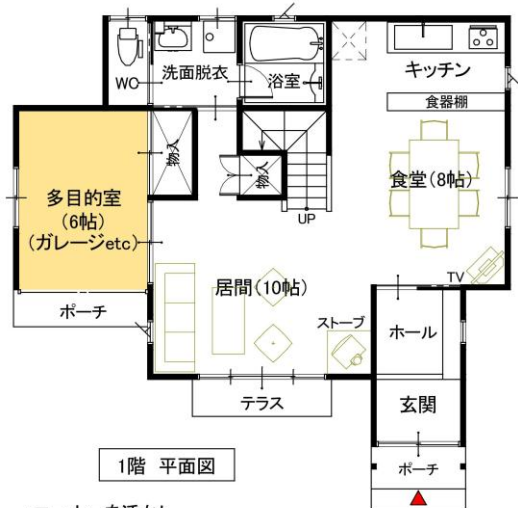
地域材の名称	南部琥珀松（梁材）
樹種	杉、赤松、唐松、栗
産地	岩手県北地域
認証制度等	産地証明、合法木材証明
主に取扱う材種	無垢材
主に取扱う部材	柱材、梁材、内装材 外装材
木材の特徴	「多様性」 樹種・断面形状・構造材・ 内外装材・建具材・家具 材・紙・保温材・調湿材・ 遮音材など住宅建材とし て様々な活用が可能です。

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

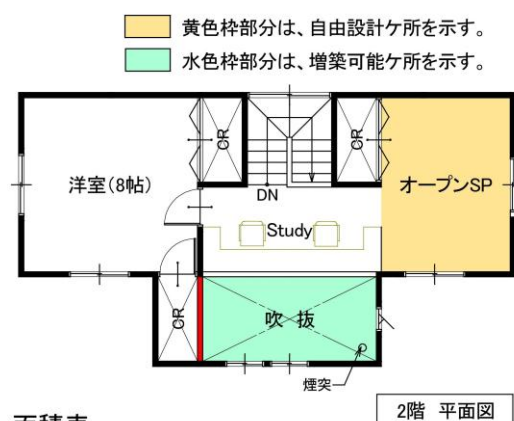
### ■無垢材を活かす『匠の家』

- ・ 廉価な恒久住宅を目指し、無垢材の使用と大工の「伝統の技」を用いて「良質の住宅」を供給いたします。
- ・ 繊維質（木質・植物・動物）等の保温性・調湿性の優れた断熱材を防湿シートで包み、内装に羽目板・和紙・珪藻土等を使用して、「呼吸する家」を提案します。
- ・ 断熱は、外部面を遮熱シートで覆い、遮熱による防露・断熱工法を提案します。
- ・ 暖房は、薪ストーブ1台による全館暖房を提案します。（停電時は、料理も可能）

### 自在に「伸縮する家」のイメージ



・コーナーを活かし  
メリハリの有る暮らし。



### ■面積表

1階床面積	65.42㎡	(19.75坪)
2階床面積	38.09㎡	(11.50坪)
吹抜け面積	6.62㎡	(2.00坪)
施工床面積	110.13㎡	(33.25坪)

地域住宅生産者グループ

チーム吉田・外館・長内

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

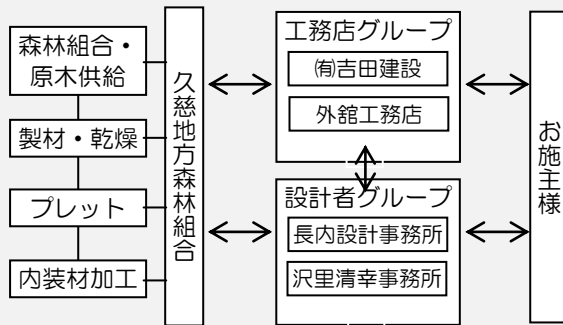
■森林組合による木材の「一貫供給」体制

- ・応急仮設住宅建設時同様に、原木の調達から製材・乾燥・プレカット加工までが一貫した体制を確立している「久慈地方森林組合ネットワーク」との協働により、消費者から安心して住んでいただける住宅を供給いたします。また、内装材はキャリア豊富なヤマゼン木材（資）で製品化される品質の確かな物を使用します。



木材天然乾燥施設  
(久慈地方森林組合山形支所加工場)

くじ『匠の家』復興住宅生産・流通ネットワークの一貫供給体制



遮熱シート  
(野田村応急仮設住宅)

施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■くじ『匠の家』サポートシステム

- ・施工主との相談窓口は設計事務所が担い、各種の相談を受け、その過程でイメージ作りの参考となるような情報の提供として、住宅の見学や住宅設備の説明等を行います。
- ・建築工事費は、グループ見積りとして統一を図ります。また「住宅性能維持」のために棟梁2名が現場の監督にあたります。
- ・日本建築の「伝統の技」が長い年月の後に途切れる事の無いよう、「確かな技」を後世に受継ぎ、施工主から信頼され長くお付き合い頂けるように努めてまいります。
- ・その試みとして、現在建設中の個人住宅で若い大工が中心となって「仕口加工」を行うなど、「伝統の技」の習得に努めているところです。



伝統的な柱と梁の接合部（仕口）



お客様打合せコーナー